

各県立高校前期選抜の志願状況が発表されました

学校名	学科(定員)	志願者数	志願倍率
福島	普通(280)	282	1.01倍
橘	普通(280)	335	1.20倍
福島商業	情報ビジネス(80)	103	1.29倍
	経営ビジネス(80)	94	1.18倍
	会計ビジネス(80)	104	1.30倍
福島明成	生物生産(80)	68	0.85倍
	生物工学(40)	26	0.65倍
	環境土木(40)	39	0.98倍
	食品科学(40)	34	0.85倍
福島工業	生産情報(40)	20	0.50倍
	機械(80)	108	1.35倍
	電気(40)	22	0.55倍
	情報電子(40)	45	1.13倍
	建築(40)	51	1.28倍
福島西	環境化学(40)	35	0.88倍
	普通(160)	266	1.66倍
福島北	デザイン科学(40)	48	1.20倍
	総合(160)	107	0.67倍
福島東	普通(240)	334	1.39倍
福島南	文理(80)	81	1.01倍
	国際文化(40)	36	0.90倍
	情報会計(40)	53	1.33倍
川俣	普通(80)	15	0.38倍
安達	普通(160)	132	0.83倍
ふたば未来	総合(160)	116	0.79倍

の定員が12,670人に対して11,818人が応募しているので、全体の倍率は0.93倍程度となっています。

9日(火)の正午を持って出願受付を締め切り、10日(水)~15日(月)の期

2月9日(火)の夕方に県教育委員会のHPで、また今日10日(水)には各新聞の朝刊で、県立各高等学校の志願者数・倍率等が発表されました。

左の表は、福島市内の県立高校と、今年も含めて直近の3年間に本校からの志願があった高校の応募状況の一覧です。

ぱっと見ると、1倍を超えていない学校・学科が多いという印象があるかもしれませんが、県立高校全体



間に1回限りの出願先変更を受け付ける日程となっています。

県立高校の入学者選抜方法は、令和2年度から大きく変更され、今回で2回目の新方式での入試となります。それまでのI期・II期・III期選抜の方式が、特色選抜と一般選抜・後期選抜に代わり、受験生は全員が学力検査を受けることになりました。また、特色選抜も一般選抜も同じ日に合格発表が行われるようになりました。

入試制度の変更に前後して、高等学校等就学支援金(返還不要の授業料支援)が2020年4月から制度改正となりました。それまでは、年収約910万円までの世帯の場合には、公立高校の授業料分が実質無料となる118,800円までの支援金が支給されていました。新しくなった現状の制度では、年収590万円までの世帯で私立高校に進学する場合には、最大で396,000円まで支援金が支給されることとなりました。

※ 年収590万というのは「両親・高校生・中学生の四大家族で両親の一方が働いている場合の目安」となっています。詳細は文部科学省HP「私立高等学校授業料の実質無償化について」を参照ください。

こうした国からの就学支援金により、経済的な面で進路選択の幅が広がり、県立だけでなく私立への進学も選択できるようになってきています。少子化だけでなく、こうした制度変更による高校への就学支援も今年度の応募状況に影響しているものと思われます。

受験生である3年生はこの状況を確認し、志願先を変更するか、あるいは現状のまま受験に臨むかどうかをすでに決断しました。あとは、定めた目標に向かって全力で挑むのみです。頑張れ! 3年生。

2年生は、あと1年後のこの表をどんな気持ちで見つめているか、想像力を働かせてみてください。

1年生も、今の段階で興味・関心のある進路や高校はどのくらいの人が希望しているのかを見てみたり、自分の好きな教科や得意なこと等を自分なりに分析し、自分にあった進路を選べるようにいろいろなことに積極的にチャレンジしてみてください。

1年生も、2年生も、進路実現へ向けた列車はもう発車しています!

